

インテル® デスクトップ ボード D850MD / D850MV クイック リファレンス

本書は、デスクトップ ボードの取り付けおよび設定の経験を持つ技術者を対象に作成されています。

はじめに

警告および注意	3
安全性および規制について	3

デスクトップ ボードのコンポーネント

D850MD ボードのコンポーネント	4
D850MV ボードのコンポーネント	6

対応コンポーネント

プロセッサ	8
メモリ モジュール必要条件	8

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け	9
2 デスクトップ ボードの取り付け	10
3 ファン ヒートシンク ベースの取り付け	12
4 プロセッサの取り付け	14
5 ファン ヒートシンクの取り付け	14
6 メモリ モジュールの取り付け	15
7 AGP リテンション メカニズムの取り付け	16
8 AGP カードの取り付け	18
9 D850MD ボードとファンの接続	19
10 D850MV ボードとファンの接続	20
11 IDE ケーブルの接続	21

BIOS コンフィギュレーション ジャンパの設定

BIOS Setup プログラムのデフォルト値

インテル® Express Installer CD-ROM の内容

- 製品保証規定
- インテル® Express Installer
- *Intel® Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide* (英文)
- ソフトウェア ユティリティおよびドライバ
- ソフトウェア使用許諾契約書
- Readme ファイル

書類番号 : A57862-001J

困ったときには

製品サポート情報は、次のインテル Web サイトで入手できます。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

Web サイトでは、次の情報をご提供しています。

- インテル® デスクトップ ボード D850MD / D850MV 製品技術仕様 (TPS)
- インテル® デスクトップ ボード D850MD / D850MV 仕様アップデート

必要な情報が Web サイトに見つからない場合は、製品購入店にお問い合わせください。インテル Web サイトには、インテル カスタマ サポートの電話番号 (0120-868686) も掲載されています。

本書に掲載されている情報は、インテル® 製品に関するものです。本書は、明示的にも暗示的にも、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、またインテル製品の販売および/または使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他、知的所有権を侵害していないことへの責任または保証を含む) にも一切応じないものとし、インテル製品は、医療、救命、延命措置などの目的に使用することを前提としたものではありません。インテル製品の仕様および製品に関する文書は予告なく変更されることがあります。

D850MD および D850MV デスクトップ ボードには、設計上の欠陥、または発行された仕様とは異なる「エラッタ」として知られる誤りがある可能性があります。現在特定されているエラッタは、ご希望により入手することができます。

注文番号の付けられた資料、本書で参照された資料、その他のインテルの資料は、インテル Web サイト (<http://www.intel.com>) から入手できます。

インテルおよび Pentium は、Intel Corporation、および米国とその他の国の関連会社の商標および登録商標です。

† それ以外の名前およびブランドは、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright© 2001, Intel Corporation

はじめに

警告および注意



WARNING

ケーブルを接続または取り外し、ボードのコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う際には、作業の前に必ず AC 電源からボードの電源を取り外してください。電源を入れたまま作業を行うと、ケガや、機器が損傷の原因となる可能性があります。デスクトップ ボードの回路によっては、フロント パネルの電源スイッチがオフになっても動作するものがあります。



CAUTION

静電気放電 (ESD) は、デスクトップ ボードのコンポーネント損傷の原因となります。静電気対策の施された作業場で、ボードの取り付けを行ってください。静電気対策の施された作業場がない場合は、帯電防止用リストストラップを着用するか、作業を行う前に、帯電防止用パッケージの表面に触れるようにしてください。

安全性および規制について:

D850MD / D850MV デスクトップ ボードに適用される規制準拠に関する文書、製品認証マーク、安全性および電磁適合性 (EMC) の規格および規制については、「*Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide (英文)*」を参照してください。

バッテリー交換に関する警告ラベル: ラベルは、シャーシ内部のバッテリー近くの見えやすい場所に貼ってください。ただし、ボード自体には貼らないでください。

使用目的: 本製品は、家庭用またはオフィス用情報技術機器 (I.T.E) として、適切なコンピュータ シャーシにインストールされた場合に対して評価されています。その他の使用目的に関しては、別途評価が必要です。

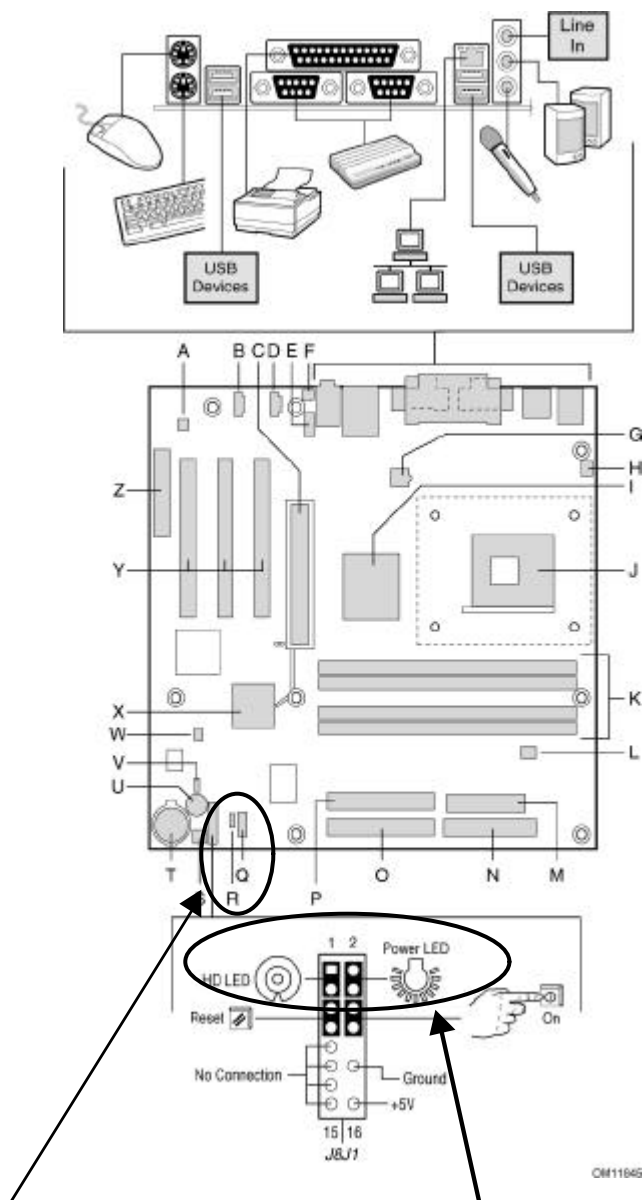


NOTES

特に示されていない場合は、説明には D850MD ボードの図が使用されています。

デスクトップ ボードのコンポーネント

D850MD ボードのコンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。
筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中（R）の Power LED / Sleep コネクタを uses。

続く

D850MD ボードのコンポーネント (続き)

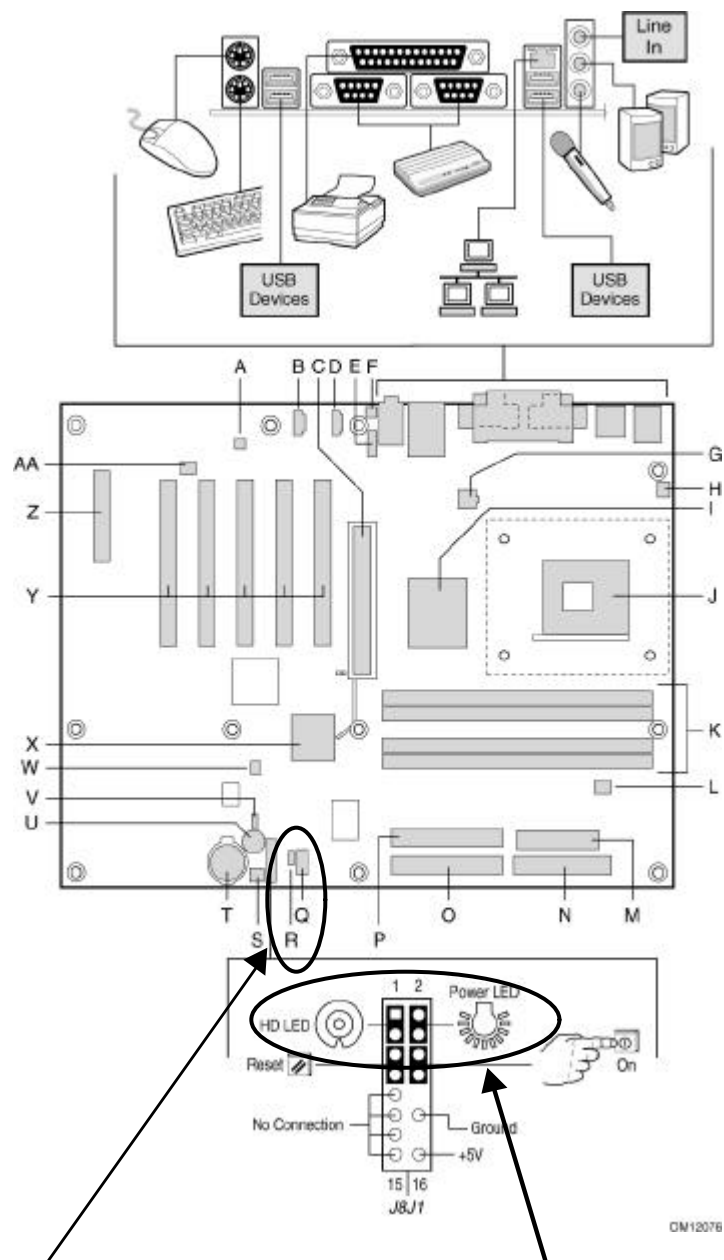
A	ADI AD1885 オーディオ コーデック	N	フロッピ ディスク ドライブ コネクタ
B	予備入力コネクタ (ATAPI)	O	プライマリ IDE コネクタ
C	AGP コネクタ (1.5V 仕様)	P	セカンダリ IDE コネクタ
D	CD-ROM コネクタ (ATAPI)	Q	フロント パネル USB コネクタ
E	フロント パネル オーディオ コネクタ	R	Power/スリープ LED コネクタ
F	シャーシ挿入コネクタ	S	シャーシ ファン コネクタ (ファン 2) (ファン回転検知機能付)
G	12 V プロセッサ電圧コネクタ	T	バッテリー
H	プロセッサ ファン コネクタ (CPU ファン) (ファン回転検知機能付)	U	スピーカ
I	インテル® 82850 メモリ コントローラ ハブ (MCH)	V	BIOS コンフィギュレーション ジャンパ
J	プロセッサ ソケット	W	SCSI ハード ドライブ Activity LED コネクタ
K	RIMM ソケット	X	インテル® 82801BA I/O コントローラ ハブ (ICH2)
L	RIMM ファン コネクタ (ファン 1)	Y	PCI バス アドイン カード コネクタ
M	電源コネクタ	Z	Communication and Networking Riser (CNR) (オプション)



CAUTION

内部のコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

D850MV ボードのコンポーネント



Power LED、HD LED コネクタには、極性があります。LED が点灯（点滅）しない場合、極性を正しく接続していない可能性があります。また、Power SW、Reset SW には、極性はありません。
筐体の種類によっては、Power LED コネクタの形状があわない場合があります。その場合、図中（R）の Power LED / Sleep コネクタを uses。

続く

D850MV ボードのコンポーネント (続き)

A	ADI AD1885 オーディオ コーデック	O	プライマリ IDE コネクタ
B	ATAPI 予備入力コネクタ	P	セカンダリ IDE コネクタ
C	AGP コネクタ(1.5V 仕様)	Q	フロント パネル USB コネクタ
D	ATAPI CD-ROM コネクタ	R	Power/スリープ LED コネクタ
E	フロント パネル オーディオ コネクタ	S	シャーシ ファン コネクタ (ファン 2) (ファン回転検知機能付)
F	シャーシ挿入コネクタ	T	バッテリー
G	12 V プロセッサ電圧コネクタ	U	スピーカ
H	プロセッサ ファン コネクタ (CPU ファン) (ファン回転検知機能付)	V	BIOS コンフィギュレーション ジャンパ
I	インテル 82850 メモリ コントローラ ハブ (MCH)	W	SCSI ハード ドライブ Activity LED コネクタ
J	プロセッサ ソケット	X	インテル 82801BA I/O コントローラ ハブ (ICH2)
K	RIMM ソケット	Y	PCI バス アドイン カード コネクタ
L	RIMM ファン コネクタ (ファン 1)	Z	Communication and Networking Riser (CNR) (オプション)
M	電源コネクタ	AA	シャーシ ファン (ファン 3)
N	フロッピ ディスクドライブ コネクタ		



CAUTION

内部のコネクタの多くは、コンピュータ シャーシ内に設置されたファン、周辺機器などのデバイスに、電力 (DC +5 V、DC +12 V など) を供給しています。これらのコネクタは、過電流防止対策が施されていません。コンピュータシャーシ外部のデバイスに電力を供給するために、これらのコネクタを使用しないでください。外部デバイスの故障によって、コンピュータおよび接続ケーブルに損傷を与えるだけでなく、外部デバイス自体に損傷を与える原因となります。

対応コンポーネント

プロセッサ



CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源(12V プロセッサ電源コネクタ等)の配線を D850MD または D850MV ボードにつながなかったりした場合は、デスクトップボードが損傷する可能性があります。

ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide (英文)」を参照してください。

以下のプロセッサをサポートしています。

プロセッサ タイプ	プロセッサ周波数	システム バス周波数
インテル® Pentium 4 プロセッサ mPGA- 478pin パッケージ	1.4、1.5、1.6、1.7、1.8、1.9、 2.0GHz および将来製品対応 (予定)	400 MHz

D850MD および D850MV ボードがサポートするプロセッサの最新情報については、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

メモリ モジュール必要条件

ボードには、2.5 V メモリ モジュール用ソケットが 4 つあります。これらのソケットは、ダイレクト ランバス DRAM (RDRAM) デバイスを使用する RIMM をサポートしています。

ボードは、以下のメモリの機能をサポートしています。

- チャンネル毎に最大 32 の RDRAM デバイス
- 128/144 メガビットまたは 256/288 メガビット テクノロジを使用した最小 128 MB ~ 最大 2 GB のメモリ構成
- PC600 または PC800 準拠 RDRAM
- シングルサイドまたはダブルサイド RIMM モジュール
- SPD (Serial Presence Detect) メモリのみ
- ECC および non-ECC をサポート



NOTES

これらのメモリ必要条件をサポートするベンダについては、インテル Web サイトの D850MD および D850MV のリンクを参照してください。

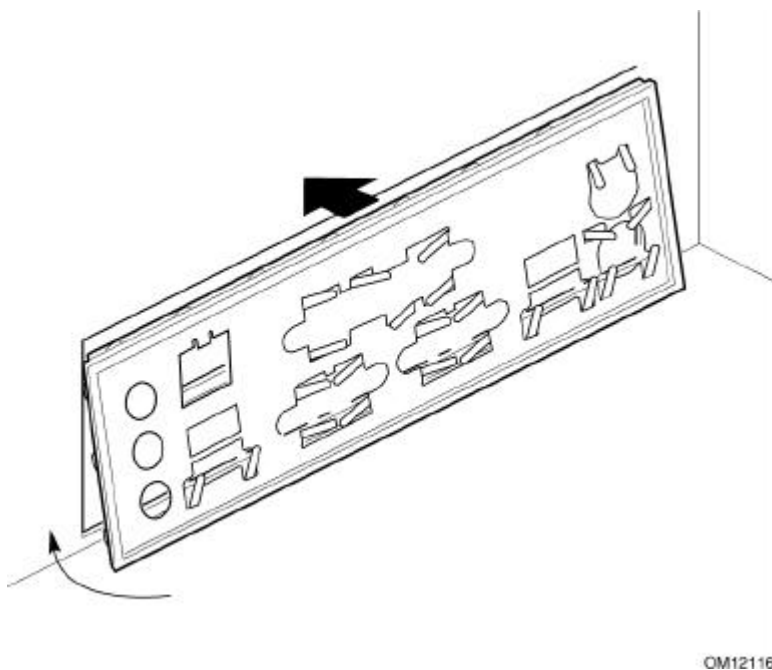
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

取り付け手順

1 I/O シールドの取り付け

ボードには、I/O シールドが同梱されています。I/O シールドは無線周波数の送波を防ぎます。これは放射電磁波（EMI）認証試験を通過するために必須となる条件です。さらに、内部のコンポーネントをゴミや異物から防ぐとともに、シャーシ内部の空気の流れを助けます。

シャーシにボードを取り付ける前に、I/O シールドを設置してください。下図のように、シャーシ内にシールドを設置します。シールドを押して、しっかりと正しい位置に収まるようにします。シールドがうまく収まらない場合は、シャーシの販売業者から適切なサイズのシールドを入手してください。



OM12116

2 デスクトップ ボードの取り付け

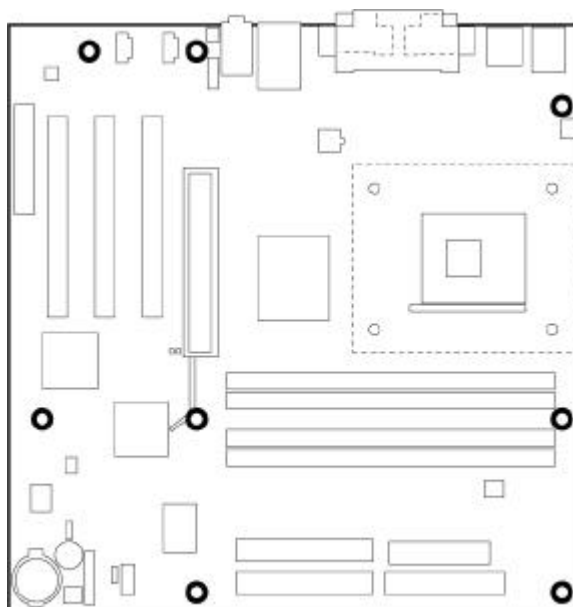


CAUTION

ATX12V 電源を使用しなかったり、補助電源（12V プロセッサ電源等）の配線を D850MD または D850MV ボードにつながなかった場合は、デスクトップ ボードが損傷する可能性があります。

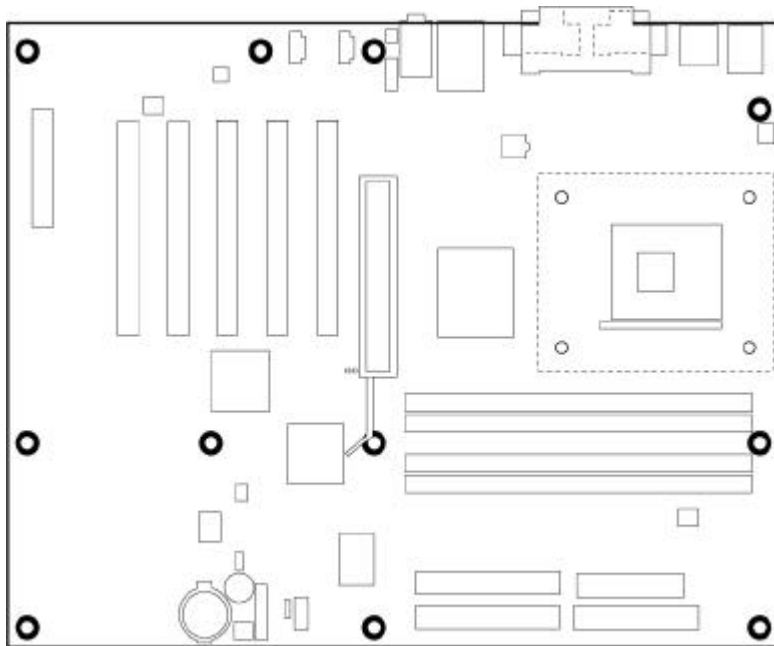
ATX12V 電源についての詳細は、CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide（英文）」を参照してください。

ボードの取り付けおよび取り外し手順の詳細については、シャーシのマニュアルを参照してください。D850MD ボードの場合は 8 個、D850MV ボードの場合は 11 個のねじと絶縁ワッシャを用いて、ボードをシャーシに留め付けます。ボードの取り付け穴の位置は、それぞれ以下の通りです。



OM11B31

D850MD ボードの取り付け穴位置



OM12178

D850MV ボードの取り付け穴位置

3 ファン ヒートシンク ベースの取り付け

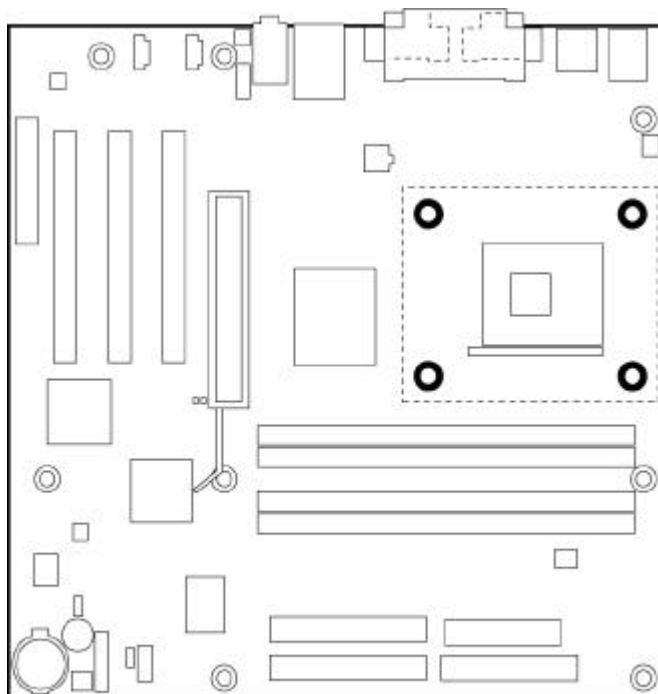


NOTES

以下の作業は、シャーシにデスクトップ ボードを取り付けた後に行ってください。

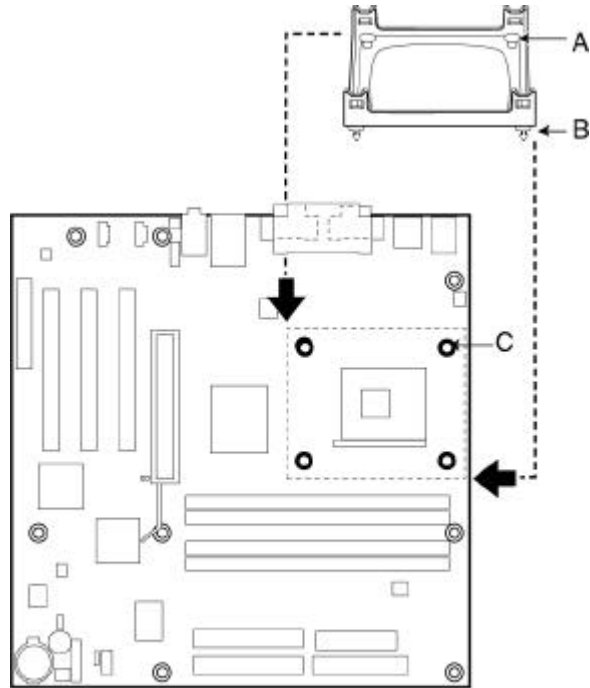
ボードには、ファン ヒートシンク ベースが同梱されています。次の手順に従って、ボードにベースを取り付けてください。

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ファン ヒートシンク ベースを、ピン 4 つを用いてボードに留め付けます。ファン ヒートシンク ベースの取り付け穴は、下図の通りです。



OM12079

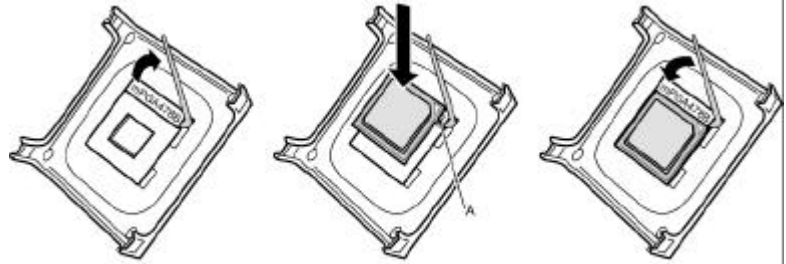
3. ファン ヒートシンク RM ベースの留め具 (B) を、それぞれ対応する穴の位置 (C) に合わせます。4 つの留め具がすべて留まるまで、ベースをゆっくり押します。留め具がすべて留まっていることを確認したら、固定用のピンを押し、ベースをボードに固定します。



OM12177

4 プロセッサの取り付け

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. プロセッサ ソケット レバーを持ち上げます。
3. プロセッサの三角形のマーク (A) が付いている角と、ソケットのレバーが付いている角とが合うように、プロセッサを取り付けます。
4. レバーを元に戻します。



OM12018

5 ファン ヒートシンクの取り付け

ファン ヒートシンクの取り付け手順については、ボックス プロセッサの取扱説明書か、次のインテル Web サイトを参照してください。

<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>

6 メモリ モジュールの取り付け



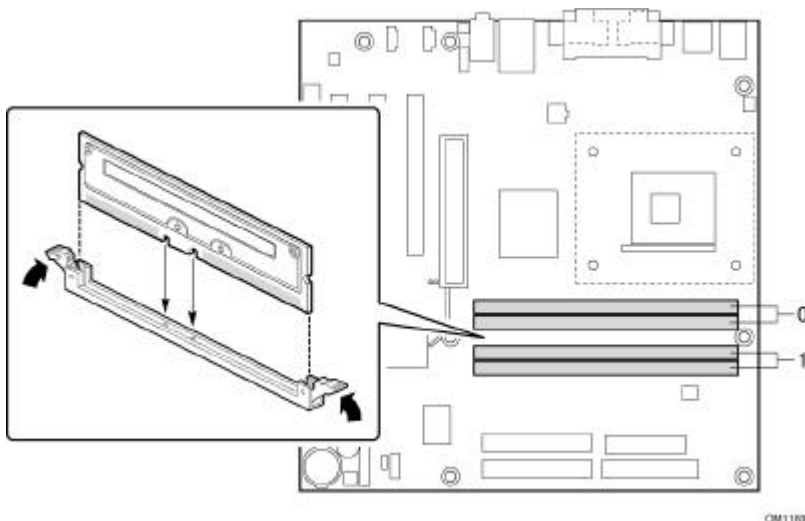
CAUTION

使用しないメモリ ソケットに Continuity RIMM (CRIMM) を装着しておかないと、ボードはブートしません。

RIMM を装着するには、強い力が必要です。RIMM を装着するときには、ボードがたわまないように注意してください。

まず、Bank 0 に RIMM を装着します。これで希望のメモリ コンフィギュレーションが得られる場合は、CRIMM を Bank 1 に装着します。

Bank 1 にメモリを装着する場合は、装着する RIMM モジュールは、サイズおよび密度が互いに同一で、Bank 0 の RIMM モジュールと速度の一致するものでなければなりません。たとえば、Bank 0 に PC800 RDRAM の 128 MB RIMM を 2 つ装着した場合、Bank 1 には、同様に PC800 DRAM を装着する必要がありますが、64 MB または 128 MB などの RIMM モジュールを使用することもできます。



7 AGP リテンション メカニズムの取り付け



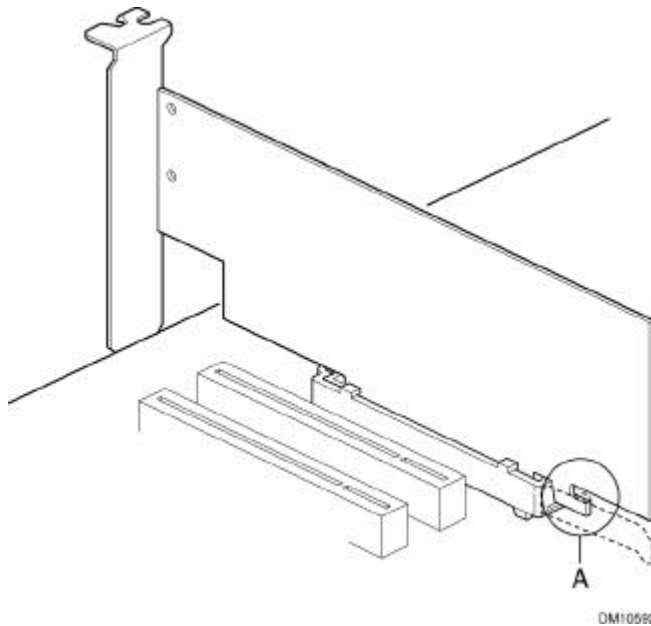
CAUTION

下図に示すリテンション ノッチ (A) のある AGP カードを用いるときのみ、AGP リテンション メカニズムを取り付けます。ノッチのないカードに AGP リテンション メカニズムを使用すると、ビデオの動作に損傷を与える可能性があります。リテンション メカニズムの取り外し手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide (英文)」を参照してください。



NOTES

D850MD および D850MV ボックス デスクトップ ボードには、AGP リテンション メカニズムが含まれない場合があります。AGP リテンション メカニズムが含まれないボックス デスクトップ ボードの場合は、18 ページの「AGP カードの取り付け」に進んでください。

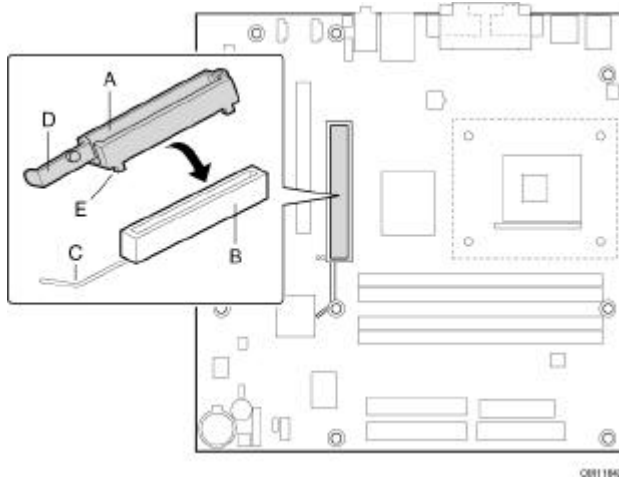


リテンション メカニズムは、ボードの AGP コネクタを取り囲むような形になっていて、AGP カードが安定するようになっています。

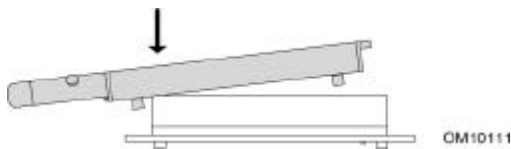
平らな、安定したものの上に、コンポーネント側を上にしてボードを置きます。

以下の手順に従って、AGP リテンション メカニズム (A) を AGP コネクタ (B) に取り付けます。

1. ボード上の AGP コネクタの位置を確認します (下図)。ボードのシルクスクリーン マーク (C) は、リテンション メカニズムレバー (D) の正しい位置を示しています。



2. 下図のように、AGP リテンション メカニズムを AGP コネクタの位置に合わせます。



3. AGP リテンション メカニズムのレバーを、後方の 2 つのタブ (E) が AGP コネクタの端にかかるまで矢印の方向に押し込みます。



4. AGP リテンション メカニズムのもう一方の端を AGP コネクタの反対側の端に入れ、最終的にはリテンション メカニズムの 4 つのタブがすべて AGP コネクタの下にとまるように、均等に AGP リテンション メカニズムを押し込みます。力をかけ過ぎて、ボードを損傷しないように注意してください。



8 AGP カードの取り付け



NOTE

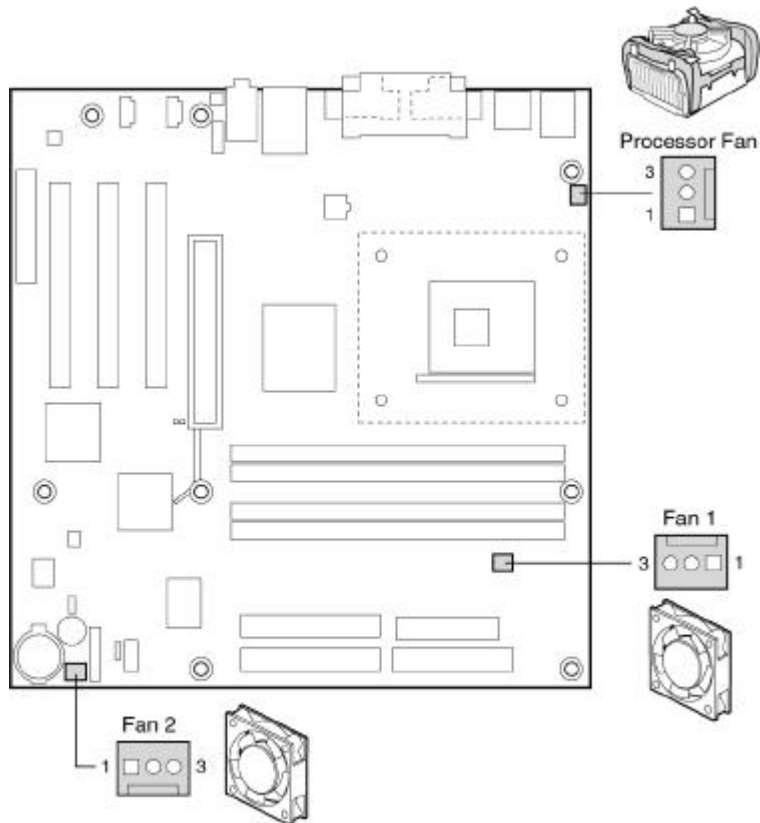
D850MD および D850MV ボードには、1.5 V AGP カードのみが使用できます。

リテンション ノッチが付いている AGP カードの場合は、以下の手順に従ってください。

1. 本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. AGP カードを AGP コネクタに置きます。
3. カードがコネクタにしっかりと収まり、リテンション ノッチがリテンション メカニズムピンの下にはまるまで、カードをコネクタに押し込みます。
4. カードの金属製ブラケットを、シャーシのバック パネルにねじで留め付けます。

9 D850MD ボードとファンの接続

下図に、D850MD ボードのファン コネクタの位置を示します。プロセッサのファン ヒートシンク ケーブルを、ボードのプロセッサ ファン コネクタに接続します。シャーシ ファン ケーブルを、下図のようにボードのコネクタに接続します。プロセッサ ファンおよびファン 2 は、インテル® Active Monitor ソフトウェアによってモニタされます。

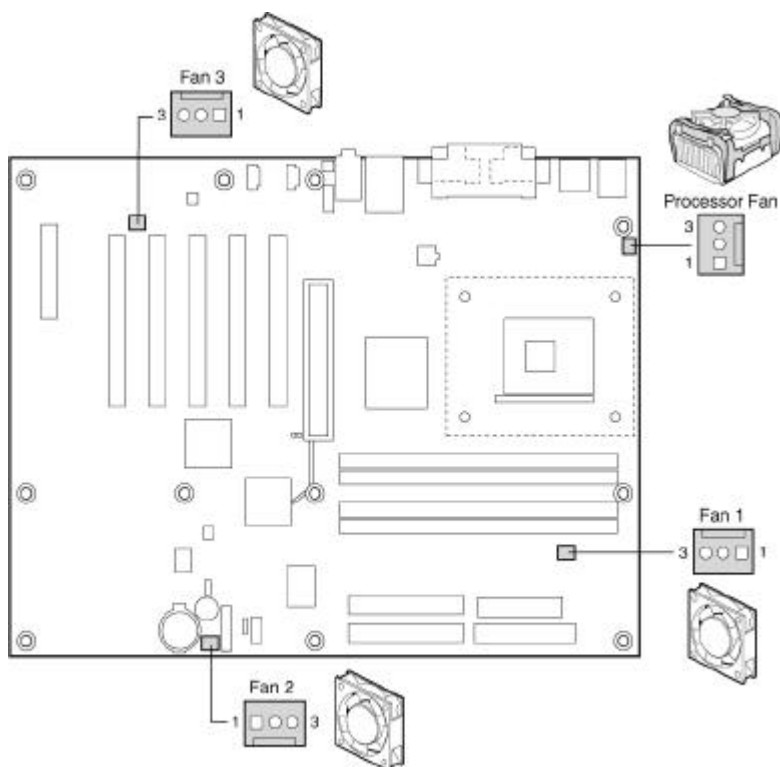


OM11844

D850MD ボードのファン コネクタ

10 D850MV ボードとファンの接続

下図に、D850MV ボードのファン コネクタの位置を示します。プロセッサのファン ヒートシンク ケーブルを、ボードのプロセッサ ファン コネクタに接続します。シャーシ ファン ケーブルを、下図のようにボードのコネクタに接続します。プロセッサ ファンおよびファン 2 は、インテル Active Monitorソフトウェアによってモニタされます。



DW12015

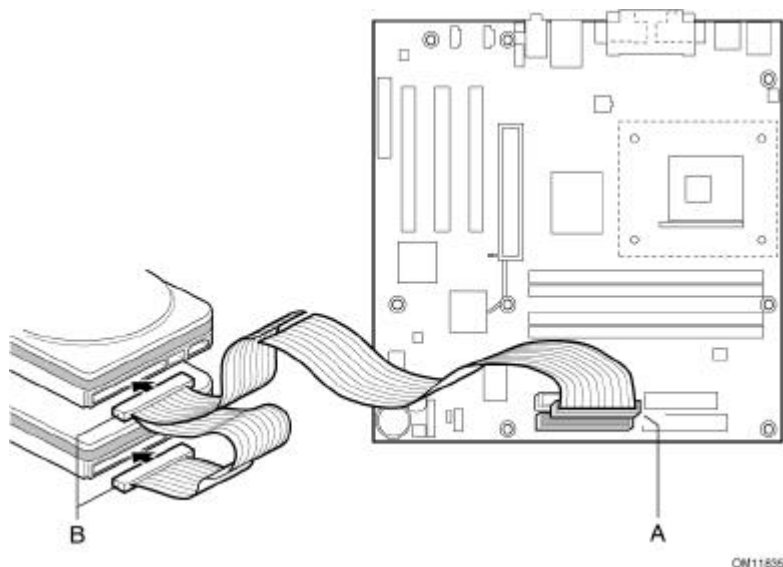
D850MV ボードのファン コネクタ

11 IDE ケーブルの接続

インテル® ボックス デスクトップ ボードには、2本の IDE ケーブルが付属しています。どちらのケーブルも、2つのドライブをボードに接続することができます。ケーブルは、Ultra DMA-33 (40 ピン) または ATA-66/100 (40 ピン、80 コンダクタ) 転送プロトコルをサポートしています。また、これより遅い IDE 転送プロトコルを使用するドライブに対する下位互換性もあります。

ケーブルを正しく機能させるためには、下図のように接続してください。

1. 「本書 3 ページの「はじめに」に記載されている注意事項をよくお読みの上、作業を開始してください。
2. ケーブルのシングル コネクタ (A) をボードに接続します。
3. 2つに分かれているコネクタ (B) をドライブに接続します。

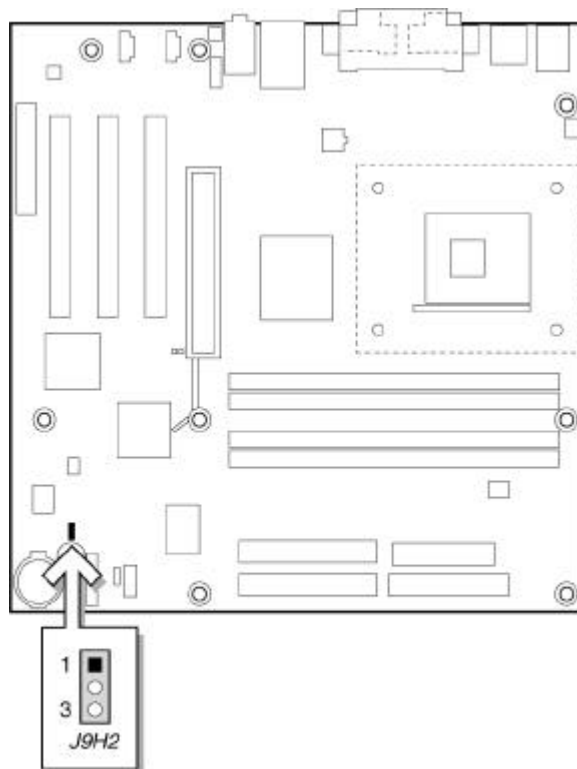


BIOS コンフィギュレーション ジャンパの設定



CAUTION

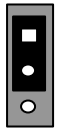
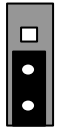
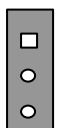
ジャンパ ブロックの設定を変更する前には必ず、電源を切り、コンピュータから電源コードを抜いてください。電源が入ったままでジャンパを変更すると、コンピュータの動作に支障をきたす原因となります。



OM11836

BIOS コンフィギュレーション ジャンパ (J9H2) によって、BIOS Setup プログラムの 3 つのモードが設定されます。次の表に、BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパ の設定について示します。

BIOS Setup コンフィギュレーション ジャンパの設定

ジャンパ位置	モード	内容
 1 3	Normal (デフォルト)	BIOS は、現在の設定および起動時のパスワードを使用します (通常使用)。
 1 3	Configure	Power-On Self-Test (POST) の実行後、BIOS は Maintenance Menu を表示します (OS は起動しません) CPU の周波数設定、パスワードクリア等でこのモードを使用します。
 1 3	Recovery	BIOS アップデート失敗時に、BIOS を復元させるモードです。画面には何も表示されませんが、スピーカ音で作業確認します。BIOS のアップグレードまたは復旧手順については、インテル Express Installer CD-ROM の「Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide (英文)」を参照してください。

BIOS Setup プログラムのデフォルト値

オーディオ インターフェイスを無効にするには、[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration]サブメニューで、[Audio Device]を[Disabled]にします。
LAN インターフェイスを無効にするには、[Advanced]メニューの [Peripheral Configuration]サブメニューで、[LAN Device]を[Disabled]にします。
BIOS Setup の最新設定値は、「Intel Desktop Boards D850MD and D850MV Product Guide (英文)」、または次のインテル Web サイトでご確認いただけます。
<http://support.intel.co.jp/jp/support/motherboards/desktop/>